



文献調査大作戦

～キーワードによる文献の探し方～

1. テーマからキーワードへ

社会心理学

インターネットの社会的影響

「インターネット中毒」

2. 文献調査から文献収集、論文作成

- ・ 学術的キーワードを得る
- ・ データベースを使って文献検索
- ・ コア (Core) 文献を探す
- ・ 過去の研究でどこまで議論は進んでいるか
- ・ 現在の研究の進捗具合

【Point】

- ・ そのデータベースの守備範囲
探したい文献はどのデータベースで
調べればいいのか！？



文献調査を GACoS から始めてみましょう。

GACoS
<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/gacos/>

- ・ 文献の入手 読む
- ・ 自分の論文をまとめる

[演習 1]

東京大学 OPAC (<http://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>) で、「インターネット中毒」をキーワードに検索してみる。

- ・ キンバリー・ヤング著、小田島由美子訳「インターネット中毒」(1998 毎日新聞社)

得られた情報

原書名 "Caught in the Net: How to Recognize the Signs of Internet Addiction and a Winning Strategy for Recovery (1998 Wiley)

インターネット アディクション (Internet Addiction)

インターネット依存

キンバリー・ヤング Dr.Kimberly S. Young

[演習 2]

ブックコンテンツ・データベース (<http://contents.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/top/>) で

「インターネット中毒」あるいは「インターネット依存」をキーワードに検索してみる。

Coffee Break

- ・ 論文と記事//学術雑誌と一般誌 (雑誌)
- ・ 査読 (Peer Review)
- ・ 論文作法



[演習 3]

OPAC とブックコンテンツ・データベースをそれぞれ使って東大図書館で所蔵している 2000 年以降に発行された論文の書き方 (論文作法) に関する本を探してください。

15 冊は見つかるはず・・・

[演習 4]

FELIX データベースの雑誌記事索引で (<http://felix.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>)

で、「インターネット中毒」をキーワードに日本語で書かれた論文・記事を検索してみる。

FELIX データベース
<http://felix.dl.itc.u-tokyo.ac.jp>

- ・岡田務 はまる-インターネット中毒 「現代のエスプリ」 370, 167-176, 1998
- ・大野和基 インターネット中毒の患者たち 「文芸春秋」 74 (10) 386-396 1996

得られた情報(キーワード)

オンライン中毒/インターネット依存(症)/テクノ依存(症)/ネットジャンキー (Net Junkie) / ネットヘッズ (Netheads) / インターネットホリック (Internetholic) / ヘビーユーザー / ネットワーク症候群 / 仮想現実 / ネット社会、コンピュータ社会 / リアリティの喪失 / ひきこもり

ハワード ラインゴールド Rheingold, H. / シェリー タークル Turkle, S. / ウェッソン Wesson, N. / ハーツ JC Hertz, J.C. / マーク グリフィス Griffiths, M. / 小此木啓吾 / 川浦康至 / 池田謙一 / 黒田賢一

[演習 5]

雑誌記事索引データベースを使って

- 1) 「社会心理学研究」に掲載された、インターネット (Web, WWW、ウェブ) の利用に関する論文を検索する
- 2) 大学でのインターネット (コンピュータ) 環境に関する論文を検索する。
- 3) これまでに得られた「インターネット中毒」に関するキーワードを 2 つ以上組み合わせて関連論文を検索する。

【Point】データベースの検索テクニック (FELIX データベースに関して)

- ・複数のキーワードを使う場合

論理演算		
and	&の記号を使う	ex. インターネット&利用
or	の記号を使う	ex. インターネット Web
not	!の記号を使う	ex. インターネット!メール

- ・著者名による検索をする場合

姓と名の間はスペースを空けてキーワード入力をする。
 旧漢字体は常用漢字に置き換わっているので注意が必要！！
 ex. 蓮実 重彦を検索キーとする。蓮實 重彦では検索できない

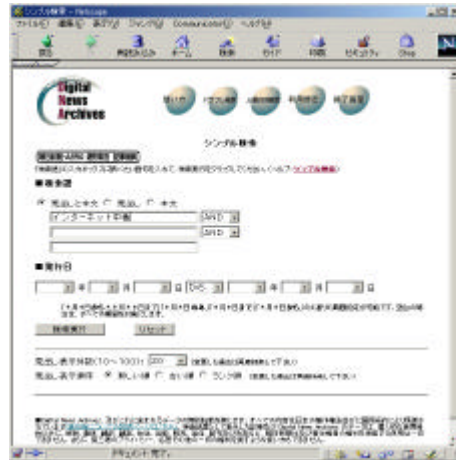
その他いろいろな文献を調査する

1) 新聞記事の全文検索・・・記事の全文までコンピュータ画面上で読める!

- ・朝日新聞
- ・日経系新聞

[演習 6]

新聞記事データベースを使って「インターネット中毒」に関する新聞記事を検索する。



2) 統計情報

[演習 7]

総務庁統計局のホームページから
日本のインターネット利用者数?
日本の家庭内のPC普及率?
などの統計データを入手してみる。



Coffee Break

A newspaper clipping with the title '統計数字のウラ' (The Dark Side of Statistics) by Kenichi Tsukagawa. The article discusses the impact of the SARS outbreak on travel statistics. It mentions that the number of international travelers decreased by 33% compared to the previous year, and that the number of domestic travelers also decreased. The author, Kenichi Tsukagawa, is a member of the Japan Travel Industry Association (JTB) and the Japan Travel Industry Association (JTB). The article is published in the Asahi Shimbun on January 12, 2002, page 2.

発信箱

統計数字は参考にはしつつも、うのみにはしない方がいい。
例えば、昨年11月の完全失業率は過去最悪の5・5%で完全失業者は350万人。この数字は一定の指標にはなるが、潜在失業者ははるかに多いと受け止めることが必要なのだ。

興味を引かれたのは昨年末、JTBがまとめた年末年始の旅行動向予測である。

それによると、海外旅行は前年比33%減と同じ方式で調査している07年以降で最大の落ち込みとされた。「8・11米同時多発テロ」の影響による国内回帰である。

結果はどうか。JTBが今年7月に発表した12月22日～1月6日の国内航空14社の利用者は国際線が前年比で15・8%減、国内線は横ばい。一

統計数字のウラ

越川 健一郎

方、JRグループ旅客8社のまとめでは新幹線など主要50区間の利用者は前年同期比で増。JR各社は「帰省客のほか温泉地など国内旅行の利用者が多かった」と分析した。

確かに国内に旅行客が戻ってきたには違いないが、ここで観光地が潤ったと早合点してはいけない。

山梨県の石和温泉旅館組合(46社加盟)関係者の話。

「なるほど海外断念組の受け皿となって年末年始の宿泊は好調でしたが、団体客が減って家族や5～6人の小グループ中心のため売り上げ増には結び付かないんです」

正月三が日の初詣でに至っては過去5年間で最低となった。漢字1字で「戦」の01年から年が改まっても、寝正月でじつと耐えたといふことが、長引く不況の中、あまりに寂しい国内回帰の現実である。(甲府支局)

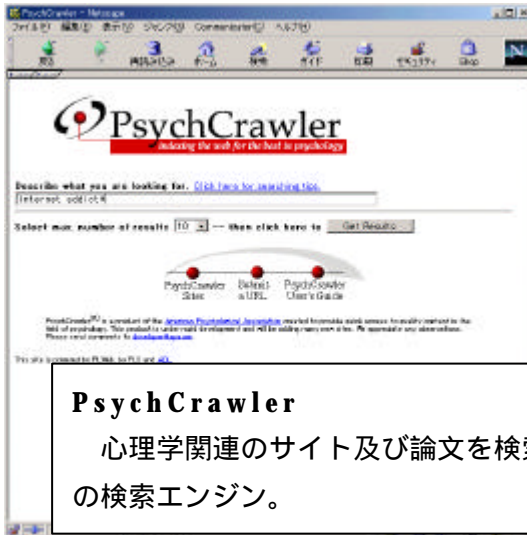
(統計数字のウラ 毎日新聞 2002/1/12 2面)

3) インターネット上の情報

IRI 学術情報サイトのみを登録したインターネット検索サイト

PsychCrawler

<http://www.psychcrawler.com/>



PsychCrawler

心理学関連のサイト及び論文を検索できる心理学分野の検索エンジン。



IRI インターネット学術情報インデックス

http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi

4) 英語論文

英語でのキーワードの習得

Internet Addiction / Internet Addiction Disorder / On-line Addiction / Pathological Internet Use / Problematic Internet Use

どのデータベースを使うか？

- ・ SwetScan (1995～) 論文タイトル中のキーワードや著者名などから検索
- ・ Web of Science (1980～) 論文テーマや著者名などから検索
引用文献検索が可能
”この文献を引用している文献は？”
- ・ PsycINFO (1887～) 心理学分野の専門データベース
論文、学会発表、本、Web情報などの文献情報を収録



【Point】データベースの検索テクニック（英語論文）

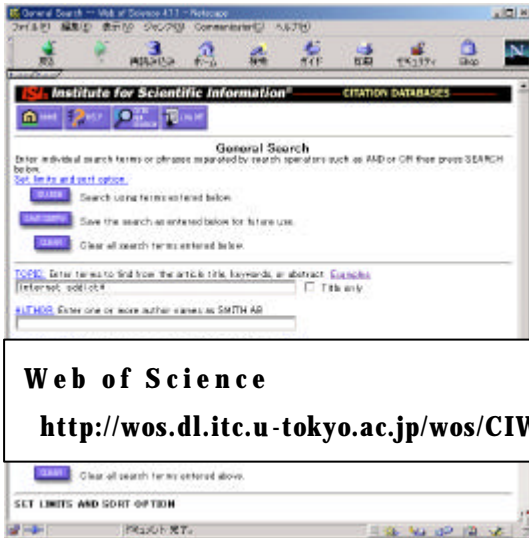
internet addiction

internet and addiction

internet and addict*

（internet or computer*） and （addict* or patholog*）

上記4つの検索式での検索結果の違いは？？



Web of Science

<http://wos.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/wos/CIW.cgi>

[演習 8]

Web of Science を使って、4つの検索式による検索結果の件数を調査する。

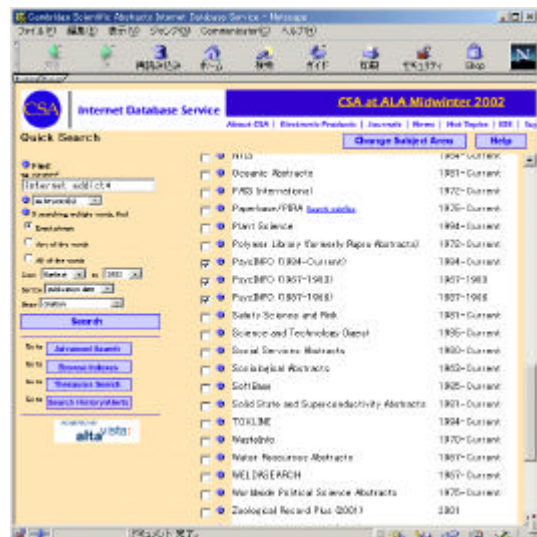
[演習 9]

Web of Science の”Cited Ref Search”を使って、Young, K.S の Caught in the Net を引用している論文を調べる。



[演習 10]

PsycINFO を使って、internet addiction に関する文献を調査する。



各データベースのマニュアルは・・・

<http://www.lib.u-tokyo.ac.jp/dl/manual/> から入手できます。

図書館の活用

- ・資料を読む、借りる
- ・他大学から本を借りる。論文のコピーを入手する

電子ジャーナルの活用

- ・すぐその場（パソコンの画面上）で読める

